

山形県立 鶴岡病院だより

山形県立鶴岡病院 〒 997-0369 鶴岡市高坂字堰下 28 ☎ 0235-22-2690

認定看護師・精神科認定看護師の活動紹介

私たちは、認定看護師（日本看護協会）・精神科認定看護師（日本精神科看護技術協会）です。日々、病院全体を横断的に活動しています。院内活動としては、患者さんへの直接的な援助・ケースカンファレンスへの参加及びスタッフへのアドバイスなどを行い、院外においては職能団体での研修会講師、地域からの依頼を受けたメンタルヘルスをテーマにした住民向け学習会の講師などを行っております。また、月1回の認定看護師ミーティングを通して各分野の報告を行い、課題などを共有して病院スタッフと連携しながら【質の高い看護】を目指し活動しています。



<認定看護師>

● 本間 郁（領域：皮膚排泄ケア看護）

皮膚や排泄などに生じる問題を患者さんと共に考え、専門的な知識・技術を持って、安心して生活が送れるよう日々のケアを行っています。また、スタッフへの指導・相談を通して、院内全体の看護の質向上を目指しています。

<精神科認定看護師>

● 佐藤 亮（領域：行動制限最小化看護）

精神科の患者さんは、精神症状から様々な治療上の制限を受けることがあり、できる限り制限が少なく早期に回復できるよう日々のケアを行っています。また、治療上の制限を人権擁護の視点から常に考え、当院スタッフと共に病院全体で取り組んでいます。

● 齋藤 教子（領域：精神科訪問看護）

当院では外来通院し、主治医より指示のある方へ訪問看護を実施しています。看護師、精神保健福祉士がお伺いし服薬の指導、地域で生活していく上で困っている事、また家族の相談に応じています。訪問看護利用者と一緒に考えながら自分らしい生活が送れるように活動しています。

● 渋谷 るみ（領域：児童思春期看護）

今年度は児童思春期病棟開設に向けた準備をスタッフと共に取り組んでおります。また、外来においては児童・思春期年代の患者さんと「どのようにこころの健康を保つか」「さまざま感情をどのようにコントロールしていくか（アンガーマネジメント）」などを共に考えながら回復に向けた援助を中心に活動しています。

● 清水 義人（領域：司法精神看護）

医療観察法病棟は、東北・北海道において2つ目となります。地域の方々や関係機関との「連携・コミュニケーション」を大切にして、スタッフと開設の準備を進めています。医療観察法病棟に関する疑問点・不明な点があれば御相談ください。

● 若松 健也（領域：精神科薬物療法看護）

精神科において薬物療法は、重要な治療の一つです。患者さんが納得し安心して治療が受け入れられるよう、看護師の立場から援助させて頂いております。今年4月より精神科認定看護師となりました。「お薬を上手に利用しながら健康生活」をテーマに、元気に明るく活動していきたいと思っております。

● 安部 和明（領域：うつ病看護）

【こころのカゼ】であるうつ病は、治りやすい一方でぶりかえりやすい傾向にあります。そのため「回復と再発防止に向けてどのように生活するか？」をテーマに、日々患者さんと考えながらケアを行っています。

以上7名が現在活動中ですが、今年度は認知症看護認定看護師・摂食嚥下障害認定看護師（日本看護協会）身体合併症看護精神科認定看護師（日本精神科看護技術協会）を目指し3名が研修中です。また、各認定看護師が専門領域において施設・企業・地域の方々を対象に出前講座を実施しております。お気軽に御相談ください。（窓口：看護部長室）

[illegible]

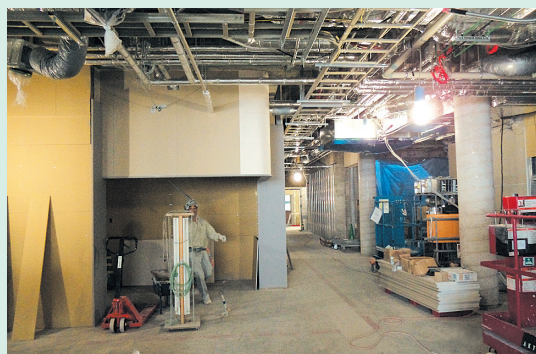
新病院に導入する予定の新設備や特徴的な部屋などを紹介します。

もう1つは、県産材“あつみスギ”の活用です。新病院 子どもユニット（中学生までの患者さんが入院する専用病棟）に県立鶴岡養護学校の分教室が併設される予定ですが、教室や廊下の腰壁に“あつみスギ”を使用し、木材が持つやさしい雰囲気や、教室の中の空気を和らげ、良好な学習環境に結び付けばと考えています。

(8月27日撮影)



国道7号三川バイパスからの遠景



南棟 外来
患者待合スペース

～ 他職種チームの特性を活かし、利用者おひとりお一人に合わせたサポートをしています！～

興味のある方はぜひ、デイケアに見学に来て
ください。なお利用については、主治医の許可
が必要です。詳細はお近くのスタッフにご相談
ください。

